

# 僅差は格差。住宅デザイン力での差別化を考える

2019  
**10月17日**  
 (木)  
 13:30 ~

会場：中央大学駿河台記念館560号室

●プログラム●

- 13:30 ~ 15:00 工務店のフラグシップな住宅を分析する  
 僅かな違いが大きな違いとなる設計力格差  
 (有)鈴木アトリエ 鈴木 信弘 氏
- 15:10 ~ 17:00 討議・質疑
- 17:15 ~ 懇親会

【お申込み方法】

下記の出席連絡票にて、2019年10月11日(金)までにSAREX事務局までお申し込み下さい。

なお、参加のお申込み後、都合により参加できなくなった場合は必ず事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

- ※参加費…正会員及び賛助会員=無料
- 準会員=10,000円/社
- 会員外参加者=20,000円/社

高性能住宅の競争時代と呼ばれているが、高性能だけで差別化できるのか。という疑問の果てにある課題が待っていることに気付かされる。それは、設計力の競争へと向かうということである。そこで、工務店住宅のデザイン力の僅かな違いが大きな格差として競争力に確然とした違いを見せていく。このことを深く考えていく必要を感じる。

その基本的な分析と課題提起を、工務店との連携で住宅設計を進める鈴木信弘さんにお願ひし、工務店住宅の設計力の格差とその本質について問い直してもらったこととしました。

そしてこれからのフラグシップデザインとなる事例などを踏まえ「設計力は工務店の最後の武器となっているのか」をレクチャーいただきます。設計スタッフや企画スタッフの方も、是非ご参加下さい。

SAREX事務局 行

FAX. 03-6425-3910

第186回ワークショップ出席連絡票 (2019年10月17日開催)		
会社名		懇親会 (必ず○印をお付けください。)
参加者氏名		参加 ・ 不参加
参加者氏名		参加 ・ 不参加